

令和7年度 授業改善推進プラン

<第1学年>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 目的をもつて的確に話を聞く。 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える。 経験したことや想像したことなどを事柄の順序に沿って書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を集中して聞くことがまだ難しく、教師や友達の話していることを聞き逃す児童が多い。 文字を読むことに慣れていないため、まとまった文章を読むことが難しい。 目的に応じて書いたり、思いを文に表現したりすることに苦手意識をもっている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 集中して話を聞けるように、話をしっかりと聞く姿勢を作ってから話をする。 語のまとまりで読む力が付くように、音読を継続して行ったり、日常的に言葉遊びを取り入れたりする。事柄の順序を考えながら読んだり話したりできるように話型やキーワードを示す。 日記や手紙を書く活動を取り入れ、思いを文に表す機会を作る。

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面を理解し、文章問題を正確に解く力を身に付ける。 20までの数の加法減法の計算を素早く確実に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を読むことに慣れていないこともあり、問題場面を理解し、理由を明確にしながら演算を決定することが難しい。 答えがわかり、計算はできるが、正確さに欠けるところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「分かっていること」「聞かれていること」を確認する。 問題場面を丁寧に読み取らせる。 具体物を使って操作させる。 友達と伝え合う時間を作り、アウトプットの機会を作る。 計算カードやプリントなどの反復練習を継続して取り組む時間を確保する。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫
生活科	<ul style="list-style-type: none"> 動植物を育て、観察することにより自然への関心を高める。 生長に応じた継続的なお世話を通し、様々なことに気づき、記録する。 家族・友達との関わりから、周り人に支えられていることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験による個人差が大きい。 アサガオの観察をし、生長を記録する学習を始めたばかりであり、学習の仕方が分からない。 児童自らが、自分の成長や周りの人に助けられていることに気付く機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節を探しに行く学習や、アサガオの栽培を通して、自然への関心を高めさせる。季節ごとの動植物の観察をし、季節の変化を感じさせ、関心をもてるようにする。 アサガオの観察をすることにより、生長に応じてどのような世話が必要になるかを、自分たちで考える体験的活動の機会を作る。 学校探検や家族の手伝い、お世話になった人への感謝の手紙を書く等の活動を通して、人との関わり大切さに気付かせる。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第1学年>

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら、のびのびと歌う。 ・拍を感じてリズムを打つ。鍵盤ハーモニカを正しく演奏する。 ・鑑賞を通して、音楽を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うことが好きだが、正しい音程を意識して歌う経験が少ない。 ・簡単なリズム打ちや鍵盤ハーモニカの演奏を始めたばかりで、学習としての経験は少ない。 ・音楽を鑑賞する経験はまだない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うときの姿勢や発声方法など、歌唱の基礎を身に付けさせる。 ・手拍子に加え、カスタネットや鈴、タンブリンなどの簡単な楽器を通して、リズム遊びやリズムを聴き合う活動を取り入れる。 ・鑑賞教材を通して、曲の感じや使われている楽器を想像し、鑑賞するよきに気づき、音楽を楽しむことができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで表したり見たりして楽しむ。 ・はさみやのり、クレヨン、絵の具等の基本的表現技法を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の進み具合に個人差がある。工夫をせずに終えようとすることがある。 ・技能を十分に習得する前に表現活動に入り、不必要に失敗を感じてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童全員が活動のねらいや見通しをもって取り組めるように、参考作品や手順を明確に示す。 ・友達の作品を自由に見て回る時間を確保し、それを参考にしながらで改めて制作できるように、授業を計画する。 ・素材を試したり味わったりする時間を一層充実させ、自信をもって表現活動に取り組めるようにする。

	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、基本的な動きを身に付ける。 ・各種の運動遊びを知り、自己に合った楽しみ方を選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を経験している児童と、していない児童の能力差が大きい。 ・自己決定を楽しむ時間は、まだ少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元のねらいに繋がる感覚遊びを単元計画に組み込み、運動遊びにつながる基本的な動きに十分に慣れ親しませる。 ・運動能力が高い児童には、動きの工夫をさせたり、複数人での取り組みをしたりすることを呼びかけて、運動遊びの弾力化を図る。 ・各種の運動遊びを十分に行う時間を確保する。 ・適切な動きを教師が理解して、どの動きを計画に組み込むかを計画する。

令和7年度 授業改善推進プラン

<第1学年>

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・英語を用いたコミュニケーションに親しもうとする姿勢を身に付ける。	・英語を話すことに対して、不安を感じ、消極的になる児童がいる。	・全員が歌やゲームへ参加できるように、教師がデモンストレーションを多く取り入れて児童の理解を促進する。 ・楽しく英語に触れることができるように、簡単な単語を使った挨拶や相互に称賛する機会を毎時間の初めに計画する。
道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・道徳的価値についての理解を深める。 ・自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える力を育成する。	・生活経験に差があり、自分自身を振り返ることや、道徳的価値に結び付けることが難しい。 ・児童が自分の考えを言葉で伝えることが難しく、友達の多様な考えに触れる機会につながらっていない。	・児童が教材を理解した上で学習できるように、教材提示を工夫する。 ・動作化や役割演技など、表現活動を工夫することで、児童が自分事としてとらえ、自分自身を見つめられるようにする。
特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動をする上での必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。	・学校生活を始めたばかりで、大人数での生活経験が少ない。まだ自己中心的であり、集団を意識することは難しい。	・話し合い活動を通して、自分の意見を発表することや他者の意見を聞くこと、多数決で決めることなど、学級会の型を指導する。 ・学級の当番活動や係活動を通して、学級のために楽しく活動できるように、活動内容を定期的に振り返るようにする。